夏が行く

…本格的な高校生活が始まります

始まってみれば「あっ」という間に終わるのが長期休業というものです。17日・18日は実力テストがあり、さっそく授業も始まりました。

入学して数ヶ月、もうお試し期間は終了です。これから高校生として本格的に忙しくなるのです。

授業の予習復習・課題・放課後講習・部活動・学校行事・進路計画、いろいろな事柄に追われながら取り組んでいると「嫌なこと」「つらいこと」は後回し(あるいは、やらない)にしてしまいたくなります。しかし、それでは進歩はありません。校長先生が全校集会でもお話しされていたように、やるべきことにメリハリをつけてその都度集中して取り組んでいきましょう。

季節が移るごとに、学年を追うごとに、みんなは成長しているはず。「4月にきちんとできていたことが、12月にはやらなくなっていた」のでは、それは退化しているということなのです。

模試を振り返る

…成績アップへの道

本日の「総合的な学習の時間」に7月に実施した進研模試が返却される予定です。ただ偏差値だけを見るのではなく、次のポイントを意識しましょう。

ポイント①

単なる解き直しだけではなく、次回以降の得点アップにつながるよう学習方法から改善する。

ポイント②

設問ごとの正答率に着目し、自分の得意分野、不得意分野を把握する。

ポイント③

現時点での具体的な進路目標を設定する。

ポイント④

以降の各教科による分析をよく読んで実践する。

教科による分析

【国語】

今年の国語の平均偏差値は56.1となっており、過去5年間の本校の平均値と比べても良い成績となっています。また、評論・小説・古文・漢文の4分野共全国平均を上回っており、分野による大きな穴がないという印象です。

ただ、評論・古文に比べて小説・漢文での得点率の伸びが少ないと感じます。

小説…例年より難度が上がっており、全国的に得点率の伸びが少なかった。特に記述に割く時間がなく、選択問題も勘に頼った可能性がある。

漢文…返り点・書き下し等の基本事項は易しめ、文章読解はやや難解。本校は、この時期の漢文では基礎力がついているので、基本事項がもう少し難解であれば、全国平均に比して伸びがもう少しあったと思われる。

模試の成績としては、今後に期待できるものでした。ただし、この7月模試については、中学校までの学力の蓄積がものを言っている側面も大きいのです。今後の皆さんの成績の伸び・安定性を実感するためには、次の11月・1月模試が重要な意味を持ちます。今後、古文の文法や単語、漢文の語彙や句法の学習を疎かにすると、古典分野で大幅に成績の落ち込みが起き、周りとの差が激しくなります。また、現代文分野も徐々に本文そのものが難化するので、WINSTEP等を活用し、それに対応する力を養っていかねばなりません。また、全分野において、記述問題にある程度対応できる力を身につけることが必要です。

いずれにしても、今後授業を始め、課題や平常講習をうまく活用し、受身で学習に臨むのではなく、なぜその答えが導き出されるのかを分析し、間違いを正しく修正できる力を身に付けていきましょう。

各教科による分析は、うらにつづきます

【数 学】

数学全体の平均点偏差値は、56.7 であり、概ね例年並と言えます。

注目されるのは、設問3の文章題(数と式)です。全国的にも得点率の低い設問ですが、配点25点に対して潮陵高校の平均点は5.3点と得点率21%余りです。上位者も思うように得点できていません。上位を狙う、他者と差をつけるためには、この設問の得点率をあげる必要があります。普段の授業においても文章問題を苦手に行っているという声を多く聞きます。文章問題の対策で大切なことは、問題(文章)を図式化してイメージをつかみ、それを式にしていく練習を積むことです。普段から図式化することを意識しながら、問題演習をしましょう。

今回の模試での低得点者の多くは、設問3を除くと設問1の小問集合(基本問題)で得点がとれていないことが目立ちます。公式の利用などの基本問題が習得できていないことが原因と考えられるため、サクシードのA問題を利用し基本問題の復習をしましょう。

【英 語】

1 良かった点

各設問の平均点が全国平均を上回っており、特に設問3(発音・アクセント)と設問7(表現力)が8点近く上回っている所を見ると、英語の音と既習の単語や文法の活用力が備わっていることが分かる。

2 悪かった点

偏差値帯別の平均点を見たときに、全国平均を下回っている人数の割合が大きい設問は、設問4(文法・語法)と設問5および6(長文読解)である。これは日々の小テストや定期考査の結果からも苦手であることが見ており、今後の改善点となる。

3 今後の学習のポイント

自らの意見などを表現するために必要な語彙力・文法知識から、長文を読み解くための語彙力・文法知識を身につける必要があるようです。そのためには、英語表現やコミュニケーション英語で習う例文や本文の音読を欠かさず行うことに加え、より多くの題材に自ら触れていくことが大切である。まずは、教科書の読み物・週末課題や速読英単語の題材に毎日触れることから始めましょう。

今後の予定

8/22(火)平常講習申込み締切

8/26(土)学校説明会(登校日)

8/28(月)振替休業

9/2(土)記念館&グラウンド清掃(PTA行事)

9/5(火)~8(金)前期期末考査

9/12(火)体育祭

9/13(水)1学年保護者説明会